

ネット活用で顕在化する リフォーム・ニーズ

鈴木 隆 *Written by Takashi Suzuki*



ホームプロのトップページ(<http://www.homepro.co.jp>)

テレビ番組などの影響もあって、住宅リフォームがここ数年ブームの様相を呈しています。一方、インターネットも、ブロードバンド、常時接続が、一般家庭において急速に普及しています。こうした追い風を受けて、リフォームでのインターネット活用も、いよいよ成長期に入ってきたようです。

わたくしどもの運営するインターネットでのリフォーム仲介サイト「ホームプロ」(<http://www.homepro.co.jp>)でも、二〇〇二年の春頃からリフォーム業者紹介の申し込みが急増し始めました。現在でも、対前年比二・三倍のペースで伸びています。サービス開始三年で、一般登録会員数は累計で一〇万人を突破、最近では一ヶ月に二〇万人がサイトを訪問し、業者の紹介依頼件数も月に二五〇〇件を超えます。

ホームプロでは、インターネットの特長である匿名性を活かし、氏名・住所・電話番号などの個人情報は一切入力せずに利用できるようにしています。当初のねらいどおり、悪質業者や営業攻勢を危惧してリフォームを躊躇していた潜在需要を顕在化させることができています。ところが、ホームプロを利用された方にお話をう

かがつてみますと、実はそれだけではないことがわかってきました。遠隔地のリフォームでインターネットがおおいに活用されていたのです。

インターネットならではの遠隔地のリフォーム事例は、留守宅管理型、中古住宅購入型、親孝行実現型の三つのタイプに整理することができます。実際にあった事例をもとにご紹介しましょう。

留守宅管理型

現在アメリカに住んでいる方が、日本国内の留守宅(別荘)のリフォーム業者を選ぶのにホームプロを利用されました。さすがに、現場の立ち会いだけは、ちょうど日本に戻って来られた娘さんが、わかつていただけでもこれまで数件あります。もちろん、海外だけでなく、国内でも離れた現住所から留守宅のメンテナンスに利用される場合もあります。

中古住宅購入型

大阪で勤務している方が、異動で東京へ赴任することにになりました。東京で購入した中古マンションを引っ越し前にリフォームするため、不慣れた土地での業者選びにホームプロを利用されました。通勤などに便利な駅近くの物件が安価で手に入るようになった東京近辺での利用が多いようです。とりあえずハウスクリーニング業者選びに

キッチンのリフォーム(堺市)



施工後



施工中



施工前

居室のリフォーム(川西市)



施工後



施工中



施工前

撮影：ホームプロ 大水優喜

鈴木 隆 (すずき たかし)

株式会社ホームプロ(大阪ガス・NTT西日本・NTT東日本が出資・設立)代表取締役専務。主な著書は、『The Paradigm Shift in International Politics: An Analysis of Transborder Data Flows and the Pax Americana』(国際大学、1988年)、『まかせて安心! 増改築・リフォーム業者選び7つのポイント』(ホームプロ、2003年)。2004年6月、光文社新書から『リフォームを真剣に考える』を発売。

必要は発明の母とはよく言ったものです。お客さまがニーズを教えてくださいます。インターネットならではのリフォーム事例について、機会があれば今後ともご紹介していきたいと思えます。

CEL

広島に嫁いだ娘さんが、東京の実家に残した高齢の両親に代わって、バリアフリーのリフォームを頼む業者を選ぶのにホームプロを利用されました。いわゆる『おれおれ詐欺』など高齢者をねらった悪質商法の被害拡大も、利用の背景にあるようです。ホームプロでは、このようなリフォームを『親孝行リフォーム』と名づけています。リフォーム代金はどちらが負担されるのかまでは、あずかり知るところではありませんが、離れて生活している親子の絆が深まるだけでもうれしいものです。こうした親孝行は毎月あちこちで行われています。

親孝行実現型

利用する方もおられます。こうした引っ越し先での業者紹介の申し込みは、月に何件もあります。